

令和5年度 第2回鈴鹿市障害者施策推進協議会 議事概要

日 時	令和5年10月3日（火）14時00分～15時40分
場 所	鈴鹿市役所 本館12階 1202会議室
出席委員	菅原，山野，中澤，松本，長井，鈴木，皆木，廣瀬，小山田 松山，田堀，堀，南條，日置，栗野 （以上15人，敬称略・順不同）
欠席者	酒井，坂，藤原，水谷
事務局	障がい福祉課長 福中 障がい福祉G 日高GL 管理G 岡村GL，門谷 計画策定業者 1名
傍聴者	なし

● 議事概要

（司会進行：事務局）

- ・開会宣言（14時00分）
- ・事務局より資料の確認。事項書内容に入る前に，本協議会運営に関する事項の確認として，本協議会及び議事概要について原則公開する旨を説明。
- ・障がい福祉課長 福中より挨拶。

（議事進行：菅原会長）

- ・挨拶の後，議題へ。

議題1 次期すずかハートフルプランの素案について

計画策定業者より説明。（資料1）

（委員）

- ・今回の計画は，どの点に意識した計画なのか。
- ・本協議会の意見から，計画のアピールポイントを作ったほうがよいのではないか。
- ・4ページの法律について，電話リレーサービスに関する法律である「聴覚障害者等による電話の利用の円滑化に関する法律」を追加してもらいたい。同サービスの啓発になる。
- ・11ページの身体障害者手帳の所持者が令和元年度と令和2年度で大きく減っているのはなぜか。
- ・17ページのMAについて説明を追加してもらいたい。
- ・30ページの成年後見制度について利用者の割合が0.7%と少ない。良い制度なので制度を知ることができれば利用者は増えると思うので，今回の調査結果を分析し，行政が制度をもっと周知するなど，アクションを起こしてもらいたい。
- ・37ページの障がい者理解は平成29年度のほうが少ない。もっと啓発や広報活動を行わないと理解が進まない。災害時の避難を手助けしてくれる人がいないという回答結果もあることから，この計画でどう取り組むか重要である。

- ・ 37 ページと 40 ページのグラフが凡例と合っていないので確認を。
- ・ 43 ページの事業所調査結果について、アンケート対象事業所数に対し、回答数が少ないのではないかと。回答率が低いと数字にしたときに偏りが出るので回答率を上げるよう市から事業所に対し働きかけを行ったほうがよい。また、前回の事業所調査はいつ行ったか。
- ・ 54 ページの選挙の投票所の環境整備とは何を差すのか。指差しシートやピクトグラムなど見て分かるようなツールを整備してもらいたい。
- ・ 63 ページにある 8050 問題や高齢者の問題について、障がいがある人には欠かせない部分であるため、71 ページの各相談機関との連携強化の取組内容に、各相談機関と書かず、具体的な機関名を書くことで、取組の具体性が増すと思う。
- ・ 71 ページの相談支援体制の充実について、民生・児童委員の育成については書かれているが確保については書かれていないので追加してはどうか。
- ・ 116 ページの 1 計画の推進体制について、現在は地区社会福祉協議会から地域づくり協議会に移行してきているので、地域づくり協議会を追加しないといけないのではないかと。
- ・ 障がい者を支援する家族に関することで、ヤングケアラーの取組はあるか。
- ・ 広報すずかについて、文字ばかりだと読みにくいので、読みやすいようにしてもらいたい。
- ・ グループホームに入所している方が高齢になり認知症や生活に支援が必要になったときはどうしたらよいか。
- ・ 専門的な用語は巻末にまとめて掲載すればよい。
- ・ 完成した次期計画は誰に配布されるのか。
- ・ 次期計画を音声化したものは作るのか。視覚障がい者への情報保障は義務であると思うので何かの形で用意してもらいたい。
- ・ 次期計画の概要版を作ってはどうか。

（事務局）

- ・ 今回の計画の方向性については、現計画の 5 つの重点施策を引き継ぎ、各施策の取組を充実させることとしており、障害福祉サービスについては第 3 部で計画していく予定である。
- ・ 4 ページの法律については追加する。
- ・ 11 ページの身体障害者手帳の所持者の減少については、手帳所持者の情報を精査した結果である。
- ・ 17 ページの MA の説明については、14 ページに説明を記載しているが、14 ページの説明を削除し、17 ページに記載することとする。
- ・ 30 ページの成年後見制度、37 ページの障がい者理解の啓発については御意見としてお聞きする。
- ・ 37 ページと 40 ページのグラフについては掲載内容を確認し修正する。
- ・ 43 ページの事業所調査結果については、次回の調査時に回答率が上がるよう事業所に働きかける。また、前回の調査は令和 2 年度に行っている。
- ・ 54 ページの選挙の投票所の環境整備については、御意見を担当課に伝える。

- ・ 71 ページの各相談機関の名称については追加する。
- ・ 71 ページの民生・児童委員の確保の取組については、担当課に伝える。
- ・ 116 ページの計画の推進体制については、地域づくり協議会を追加する。
- ・ ヤングケアラーの取組は地域福祉計画で触れていくと思われる。
- ・ 広報すずかが文字ばかりだと読みにくいということについては、御意見としてお聞きする。
- ・ グループホームに入所している方の生活支援に関する相談については、関係機関に相談することで支援が得られるので相談を。
- ・ 専門的な用語は巻末にまとめて掲載する予定である。
- ・ 完成したハートフルプランは、冊子とホームページへの掲載という形で周知されるが冊子の印刷部数は多くないため市民への配布は想定していない。要望があれば個別で対応する。
- ・ ハートフルプランの音声化については、今までは要望もなく作成していなかった。今後、検討する。
- ・ 概要版の作成は検討する。

その他

(事務局)

- ・ 次回の開催は令和6年2月を予定している。
- ・ ハートフルプランについては、今後、庁内会議を経てパブリックコメントを実施した後、策定していく。次回の協議会では完成した計画の報告をすることとなる予定。

(会議終了 15 : 40)